

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名： 腰椎すべり症を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する棘突起正中縦割式椎弓形成術の長期予後に関する検討』

研究機関名： 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者： 脳神経外科 職位・氏名： 助教・佐藤 詳

### 【情報の利用目的】

2011年6月～2014年12月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科または脊椎脊髄センターにおいて腰椎すべり症を伴う腰部脊柱管狭窄症と診断され、棘突起正中縦割式椎弓形成術(きょくとつきじゅうかつしきついきゅうけいせいじゅつ)、腰椎除圧固定術のいずれかを施行した患者さんの臨床経過及び画像検査結果のデータを診療録(カルテ)より取得します。取得した情報は、腰椎すべり症を伴う腰部脊柱管狭窄症に対する棘突起正中縦割式椎弓形成術の長期有効性の評価を目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、今後の腰椎すべり症を伴う腰部脊柱管狭窄症に対し、より適した治療法のご提案につながります。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる情報】

情報： 性別、年齢、再手術率、合併症、臨床症状、腰椎レントゲンのすべり度、腰椎MRIの椎間板の状態程度、腰椎CTの脊椎骨削除範囲 等

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【情報の利用または提供を開始する予定日】

2026年2月より利用を開始します。

### 【情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大橋病院 病院長 渡邊 学

### 【情報の取得方法】

対象者： 2011年6月～2014年12月までに東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科または脊椎脊髄センターにおいて、腰椎すべり症を伴う腰部脊柱管狭窄症と診断され、棘突起正中縦割式椎弓形成術、腰椎除圧固定術のいずれかの手術を受けた方(およそ163人)。

方 法： 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

**【研究組織】**

代表施設名： 東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者： 佐藤 詳 役職： 助教

**【情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科 佐藤 詳

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、2026年4月30日までに下記へご連絡ください。申し出のあった方の情報は、利用致しません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。また、患者さんご本人はもちろん、代諾者の方からのお問合せも受け付けます。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 脳神経外科

職位・氏名 助教・佐藤 詳

電話： 03-5433-3099 内線： 7531